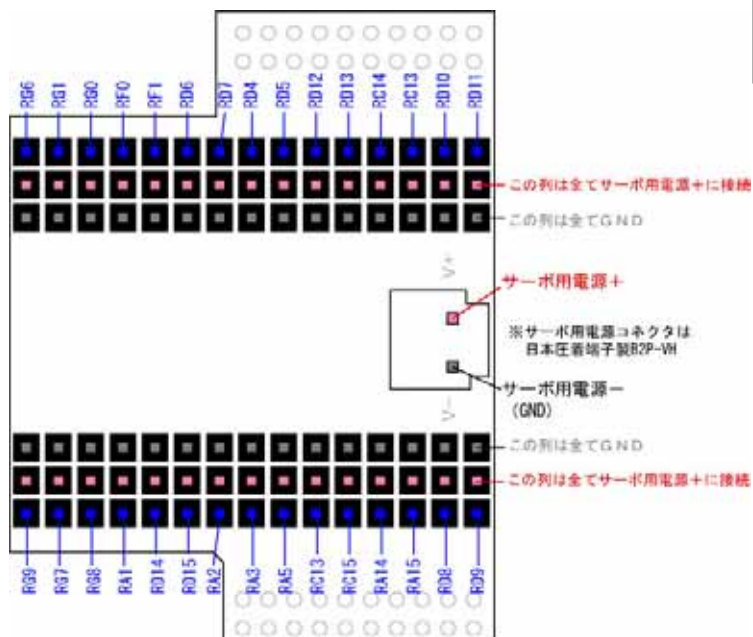


ホームページでサンプルプログラムを多数掲載



<仕様>

RC サーボポート : 30ch

■ は、COREと接続した時にCPUチップに直結されます。各端子は複数の機能を兼ねており、プログラムで設定します。各機能については上のCPUピン配列を参照願います。

※サーボ電源-は、A33F-CORE(本体)のGNDにつながっています。
 ※サーボ電源+はA33F-CORE(本体)側にはつながっていません。

<使用方法>

使用方法、最新情報、各機能の使い方、接続事例、サンプルプログラムは浅草ギ研のホームページにて掲載しておりますのでこちらを参照願います。

A33F のページ(マニュアルも兼ねる。印刷するとA4用紙の幅になります。)

<http://www.robotsfx.com/robot/A33F.html>

使用前に使用上の注意をよくお読み下さい。

サンプルプログラムのページ

<http://www.robotsfx.com/main/samplepg.htm>

この製品はマイコンボードに付き、基本的にはお客様側でマイコンのデータシートを読んで頂き、使い方を学んで頂く必要があります。データシートなど必要な情報は上記ホームページ又はMicrochip社のホームページ、Web上の情報などを参照願います。但し、サンプルプログラムのページでは一通り開発ができるまでの流れを説明していますのでまずはこちらを参照願います。

<不具合時の対応>

お問い合わせの多くは、使用上の勘違い、接続ミスなどが原因です。不具合と思われた場合は一度、A33Fのページの Q&A を参照願います。その上でも不具合のようであれば、一度メールを頂いた上で、この商品のみを着払いにてお送り頂ければ新品と交換致します。(動作が正常であった場合は確認手数料(通常 500~2000 円ほど)を申し受けることがあります。)

有限会社 浅草ギ研 <http://www.robotsfx.com/> 商品についてのお問い合わせは asakusagiken@robotsfx.com まで